

PRESS RELEASE

2019年7月9日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、Webサイトを外部脅威から防御する「IIJマネージドWAFサービス」を提供開始

-- DDoS対策やSOC、統合運用サービス等のIIJサービスと連携させることで
Webセキュリティ対策を運用まで含めて統合的に提供 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、Web アプリケーションの脆弱性を突いた攻撃から企業の Web サイトを防御する「IIJ マネージド WAF サービス」を本日より提供開始いたします。

WAF(web application firewall)とは、Web サイト上で動作する「Web アプリケーションの保護」に特化したファイアウォールです。IIJ マネージド WAF サービスは、米国 F5 Networks 社の高性能 WAF エンジン「BIG-IP Application Security Manager (ASM)」を活用したクラウド型の WAF サービスで、Web アプリケーションに存在する様々な脆弱性を突いた攻撃を検知、防御するとともに、CDNやDDoS対策、SOC など各種 IIJ サービスと連携させることで、Web サイトに必要なセキュリティ対策を運用まで含めて統合的に提供いたします。

高性能な WAF エンジンをフルマネージドなクラウドサービスで提供

導入から運用・監視まで一元的に提供するクラウドサービスで、お客様は WAF をアセットレスで手軽に導入することが可能です。防御帯域は 10Mbps～1Gbps まで、幅広いメニューを用意しており、トラフィックの急増にも対応できるクラウドサービスならではの高いスケーラビリティによりコストの最適化を実現します。お客様によるセルフマネジメントにも対応し、シグネチャ(不正通信の定義ファイル)の調整やステージング環境でのテスト、攻撃状況などを確認することができるユーザインタフェースを標準でご提供します。

Web サイトに必要な対策をワンストップで提供する「Web セキュリティプラットフォーム」

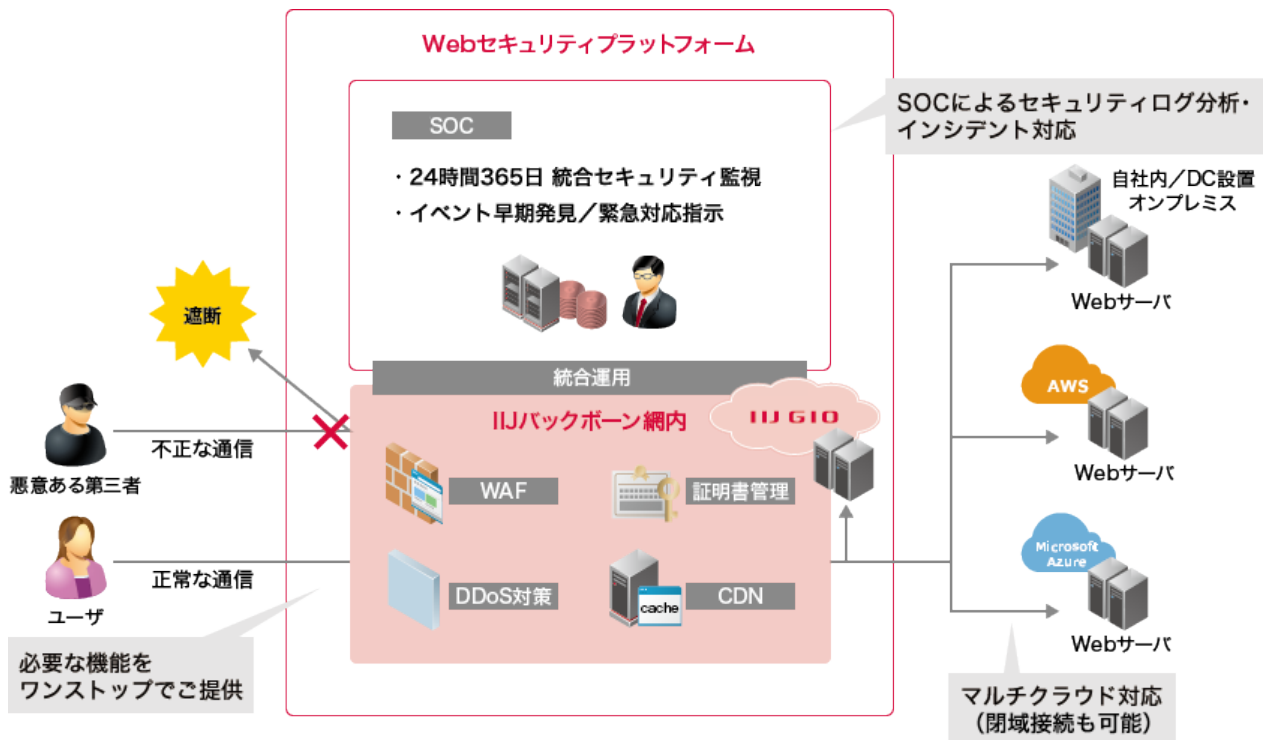
IIJ マネージド WAF サービスを、DDoS 対策や SOC など各種 IIJ サービスと連携させ、「Web セキュリティプラットフォーム」として、Web サイトのセキュリティ対策に必要な機能を包括的に提供します。企業が管理する Web サイトが増えるにつれて煩雑化するセキュリティ対策を一元的に管理することで、統一したポリシーのもと、セキュリティを確保することが可能になります。また、マルチクラウド利用が一般化し、様々なクラウドサービス上に Web サイトが置かれる状況において、閉域での接続、および複数のクラウド環境におけるセキュリティ対策を、運用まで含めて統合的に提供することでお客様の運用負荷の軽減、トータルコストの削減を実現します。

サービス詳細は <https://www.ij.ad.jp/biz/mwaf/> をご覧ください。

■参考価格

IIJ マネージド WAF サービス 帯域 10Mbps、シングル構成/1FQDN の場合
月額費用例 154,000 円

■Webセキュリティプラットフォームイメージ



IIJ は今後も、「安全をあたりまえに」をコンセプトとするセキュリティ事業ブランド「wizSafe(ウィズセーフ)」のもと、お客様が脅威を意識せず、インターネットを安全に利用できる社会の実現を目指してまいります。

■F5 ネットワークスジャパン様からのエンドースメント

インターネットイニシアティブの IIJ マネージド WAF サービスに、弊社の BIG-IP ASM (Web Application Firewall)をご採用いただいたことを心より歓迎いたします。
今後も F5 ネットワークスは IIJ との連携により、多くのお客様に安全な Web サーバセキュリティ環境を提供できるものと確信しております。

F5 ネットワークスジャパン合同会社
代表執行役員社長 権田 裕一

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@ij.ad.jp <https://www.ij.ad.jp/>

※ 本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。